

# CDI からのご案内 CDI 中高等部図書館日本セクション 2015 年 10 月

皆様、ご入学、ご進級おめでとうございます。新学年もスタートし、早くもトゥッサンバカンスとなります。CDI中高等部図書館日本セクションでは、アペジャリ委員会の予算の中に含まれる図書購入費（教員の方々が購入）の他に、保護者からの寄付、クラブインターによる収益金を利用して図書を購入しています。DVDはクラブインター本部からの収益金によって購入されています。

今年度も新しい本がぞくぞく入荷いたしますので、どうぞご利用ください。

 <p>はじめの文学 川上弘美</p>	 <p>はじめの文学 浅田次郎</p>	 <p>はじめの文学 小川洋子</p>	 <p>はじめの文学 宮本輝</p>
<p><b>はじめの文学 川上弘美</b></p> <p>小説はこんなにも面白い。文学の入り口に立つ若い読者へ向けた自選アンソロジー。</p>	<p><b>はじめの文学 浅田次郎</b></p> <p>はじめて浅田文学に触れる若者たちへ捧げる作品集です。5編の短編を収録。</p>	<p><b>はじめの文学 小川洋子</b></p> <p>静けさをたたえた世界の美しさ。文学の入り口に立つ若い読者に向けた自選アンソロジー。</p>	<p><b>はじめの文学 宮本輝</b></p> <p>文学の入り口に立つ若い読者へ向けた自選アンソロジー。少年の輝きと青春の哀歎を描く。</p>
 <p>はじめの文学 宮部みゆき</p>	 <p>池上彰の① やさしい経済学 池上彰</p>	 <p>池上彰の② やさしい経済学 池上彰</p>	 <p>ビブリア古書堂の事件手帖⑥ 三上延</p>
<p><b>はじめの文学 宮部みゆき</b></p> <p>小説はこんなにも面白い!文学の入り口に立つ若い読者へ向けた自選アンソロジー。</p>	<p><b>池上彰の① やさしい経済学 池上彰</b></p> <p>お金はなぜお金なのか「見える手によって導かれる経済とは」—むずかしいと思われがちな経済学を、日常生活の視点から眺め、基礎の基礎から解説しました。この1冊で最新ニュースも驚くほど理解が深まります。</p>	<p><b>池上彰の② やさしい経済学 池上彰</b></p> <p>「なぜバブルが生まれ、はじけたか?」「君は年金をもらえるか—消費税をどうする?—過去の経済政策から、現在の日本や世界を取り巻く情勢、いま抱える問題点など、日々のニュースを理解するために必要な経済知識を丁寧に解説しました。毎日のニュースが身近に面白くなる、池上教授の白熱授業。</p>	<p><b>ビブリア古書堂の事件手帖⑥ 三上延</b></p> <p>太宰治の『晩年』を奪うため、美しい女店主に危害を加えた青年。ビブリア古書堂の二人の前に、彼が再び現れる。今度は依頼者として。深い謎の先にある真実とは?</p>
 <p>Percy Jackson AND THE BLOODLINE パーシー・ジャクソン オリンポスの神々③ タイタンの呪い The Titan's Curse</p>	 <p>Percy Jackson AND THE BLOODLINE パーシー・ジャクソン オリンポスの神々④ 迷宮の戦い The Battle of the Labyrinth</p>	 <p>リゲジョ! 伊与原新</p>	 <p>リゲジョ! 伊与原新</p>

<p><b>パーシージャクソンと オリンポスの神々3 リック・リオードン</b></p> <p>ポセイドンの息子パーシーは、訪れた寄宿学校で怪物に捕まってしまう。この危機を救ったのは、オリンポス十二神の一人、女神アルテミスだった。しかし、怪物との戦いの最中、アナベスが消えてしまい、その後アルテミスまでも行方不明に…。</p>	<p><b>パーシージャクソンと オリンポスの神々4 リック・オリードン</b></p> <p>アメリカ探偵作家クラブ賞受賞の実力派ミステリー作家による、現代のアメリカを舞台にギリシャ神話の神々や怪物が大暴れする異色ファンタジー。最終局面へむけクライマックスをむかえるシリーズ第4弾。</p>	<p><b>いなくなれ群青 河野 裕</b></p> <p>安定していた僕の高校生活を一変させる。奇妙な島。連続落書き事件。そこに秘められた謎…。僕はどのようにして、ここにいるのか。彼女はなぜ、ここに来たのか。やがて明かされる真相は、僕らの青春に残酷な現実を突きつける。「階段島」シリーズ、開幕。</p>	<p><b>リケジョ 伊予原 新</b></p> <p>貧乏大学院生で人見知りの律は、留学費用を稼ぐため、不本意ながら成金令嬢・理緒の家庭教師をすることに。だがこの生徒、いまだき珍しい理科大好き小学生。そこへ降りかかる奇妙な事件の数々…「教授、科学の力で解決しましょう!」引き気味の律と、あくまで前向きな理緒。不思議なコンビネーションが生まれて…無類に楽しい、理科乙女ミステリシリーズ誕生!!</p>
			
<p><b>消えない夏に僕らはいる 水生 大海</b></p> <p>5年前、響の暮らす田舎町に、都会の小学生たちが校外学習で訪れた。きもだめしをすることになった響たちは、ある事件に遭遇し、一人の女子が大怪我を負ってしまう。責任を感じ、忌まわしい記憶を封印した響だが高校生活に希望を抱くなか、あの日の彼らと同じクラスで再会する—少年少女の鮮烈な季節を描く、青春冒険譚。</p>	<p><b>一色一生 志村 ふくみ</b></p> <p>芸術と人生と自然の原点に佇んで思いめぐらす。深い思索とわがいのちの焔を、詩的に細やかに語るエッセイ集。</p>	<p><b>神様のカルテ 0 夏川 草介</b></p> <p>シリーズ 300 万部突破のベストセラー『神様のカルテ』にまつわる人々の前日譚であり、かつ珠玉の短編集です。</p>	<p><b>アンネの日記 アンネ・フランク</b></p> <p>『アンネの日記』が最初に世に出たのは1947年。そして91年に、47年版でカットされていたアンネの人間味あふれる記述(鋭い批判精神や性のめざめ、など)を復活させた「完全版」が出版された。</p>
			
<p><b>世界一やさしい問題解決の授業 渡辺 健介</b></p> <p>世界最高峰のコンサルティング会社で学んだ問題解決の考え方を中高生にもわかるように解説。学校では教えてくれない考える力のトレーニング。</p>	<p><b>冷静と情熱のあいだ 江國 香織</b></p> <p>穏やかな恋人と一緒に暮らす、静かで満ち足りた日々。これが私の本当の姿なのだろうか。永遠に忘れられない恋を女性の視点から綴る、赤の物語。</p>	<p><b>空飛ぶタイヤ (上) (下) 池井戸 潤</b></p> <p>走行中のトレーラーのタイヤが外れて歩行者の母子を直撃した。ホープ自動車が出した「運送会社の整備不良」の結論に納得できない運送会社社長の赤松徳郎。真相を追及する赤松の前を塞ぐ大企業の論理。家族も周囲から孤立し、会社の経営も危機的状況下、絶望しかけた赤松に記者・榎本が驚愕の事実をもたらす。</p>	<p><b>ナイン 井上 ひさし</b></p> <p>20年前の野球少年たちはどうしているだろう。ぷーんと木の香をさせていた職人のおじさんは元気になっているだろうか。パスの窓から見る風景も、雑踏の中で垣間見るドラマも、東京の町はすべて通りすがりの私の胸に熱く迫ってくる。</p>



**だれも知らない小さな国**  
佐藤 さとる

こぼしさまの話が伝わる小山は、ぼくのたいせつにしている、ひみつの場所だった。ある夏の日、ぼくはとうとう見た——小川を流れていく赤い運動ぐつの中で、小指ほどしかない小さな人たちが、ぼくに向かって、かわいい手をふっているのを！  
日本ではじめての本格的ファンタジーの傑作



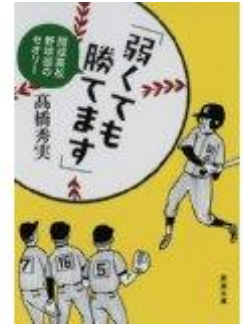
**天切り松闇がたり 4巻**  
浅田 次郎

国の無体に抗おうと松蔵らが挑んだ企みとは？激動の時代へと呑みこまれていく有名無名の人々に安吉一家が手をさしのべる五編。人の痛みを、声なき声を、天下の俠盗たちが粋な手並みですくいとる。



**終わらざる夏 中**  
浅田 次郎

運命の糸に操られるように、北千島の戦地へ向かった3人の男。信州の疎開先から逃げ出した少年と少女。過酷な状況下、何を信じ、何を守るのか。人間の本质を照射する戦争文学の巨編。



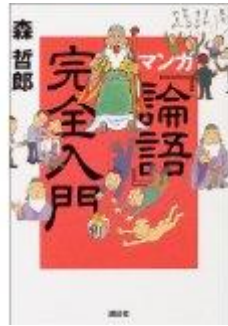
**弱くても勝てます**  
高橋 秀実

甲子園も夢じゃない!? 平成17年夏、東大合格者数日本一で有名な開成高校の野球部が甲子園大会東東京予選ベスト16に勝ち進んだ。思わず爆笑、読んで納得の傑作ノンフィクション!



**漫画**  
**宇宙兄弟 26**  
小山 宙哉

ついに、夢にまで見た宇宙へと飛び出した六太たちジョーカーズ！ 予想もしないメッセージ、宇宙空間での「ランデブー」と、休む間もなく続く出来事に、心臓の鼓動は高まりっぱなし。そして……一行はついに月へと到達する！



**漫画**  
**「論語」完全入門**  
森 哲郎

かつて日本人は『論語』をはじめとする中国古典から人間学を学び、自分を律し、自分を高める努力をしてきた。これから社会のリーダーを目指す人たちにとって必要なことはすべて、この『論語』のに描かれている



**漫画**  
**少年 SF 短編集 2 絶滅の島**  
藤子・F・不二雄

藤子先生の SF ワールド短編集、「ドラえもん」など児童もの以外の藤子先生の世界がわかる傑作短編集17編が2冊になって読める文庫判です。



**漫画**  
**いちえふ 1巻**  
電田 一人

「メディアが報じない福島第一原発とそこで働く作業員の日常」あくまでも作業員の立場から描写。「この職場を福島の大池から消し去るその日まで」働き続ける作業員たちの日々を記録した、いま日本に暮らすすべての人たちに一度は読んでみてほしい「労働記」です。